

令和7年度 少林寺拳法 部の指導方針等について

令和7年4月21日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	福家健司	門倉羽音(R3 卒業)	二段 (R3 インターハイ 出場)	月 1 回
副顧問	泉崎靖子	中田瀬里菜 (R4 卒)	初段 (R4 インターハイ 出場)	月 1 回
副顧問	伊東敬太			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。少林寺拳法拳士として恥ずかしくない高校生活を送る。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会・全国選抜大会・インターハイ・オールジャパン出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
特に高大連携、中高連携を図った練習会を企画し、参加している。また清瀬市の各イベントに参加し、デモンストレーションを実施している。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、自主的に、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1回程度、競技力を高めるため学生王者日本体育大学と合同練習を行う。
また、東京都加盟校、近隣の埼玉県加盟校と積極的に合同稽古を実施する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、武道を志す者としての心構えを毎回の稽古で伝え、上級生から下級生へ、同級生同士の間での相手を尊重することを、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し

合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 5月5日(月) 東京都高校総体少林寺拳法大会(東京武道館)
	6	関東大会 7日(土)・8日(日)(千葉・千葉市:千葉県総合スポーツセンター) 夏季合宿健康診断
	7	下旬高体連少林寺拳法専門部指導者講習会・合同稽(体罰撲滅) 於 東京武道館 6・20日 インターハイ強化練習 於 清瀬高校 7月23日～7月25日 インターハイ 於 広島県福山市エスピオアリーナ
	8	22日(水)～22日(金) 夏季合宿(大阪府堺市 中高大合宿参加 2泊3日) 日本体育大学にて強化練習会(4日間)
2 学期	9	21(日) 演武講習会 於 東京都市大付属
	11	3日(月・祝) 東京都少林寺拳法新人大会(砂川高校) 15日(土)・16日(日) オールジャパン(神奈川県横浜市)
	12	27日(土) 高体連合同稽古 於 東京武道館 28日(日) 関東選抜大会(東京都・東京武道館)
3 学期	1	
	2	
	3	27日(金)～29日(日) 全国選抜大会 (香川県善通寺市 善通寺市民体育館)

※その他 日体大、埼玉県、東京都加盟校と合同練習、1か月に1回程度